



あったかハート推進週間の取組（9月）

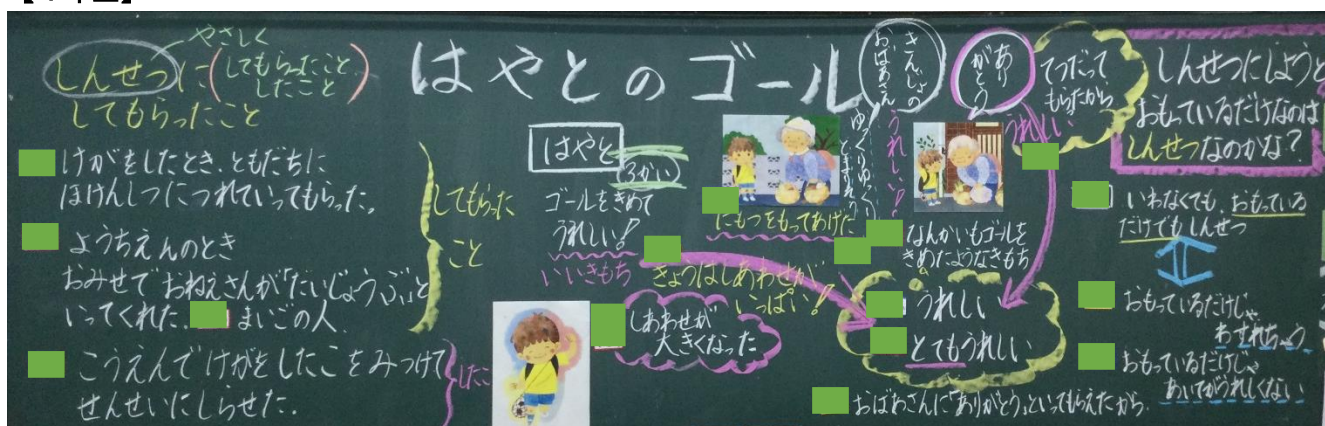
今年度、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。

9月は、以下の内容で道徳科の授業を行いました。

月	期 間	内 容
9月	9/4（月）～8（金）	道徳科の授業② 内容項目：友情, 信頼（低学年）、相互理解, 寛容（中・高学年）

1 実際の授業

【1年生】



1年生は教科書の「はやとのゴール」を読んで、親切をしたときにどのような気持ちになるかについて考えました。

授業では、「けがをしたときに、友達に保健室まで付き添ってもらった」「お店で店員さんに優しく声をかけてもらった」など、親切にしてもらって嬉しく感じたときのことを話す様子が見られました。また、登場人物が近所のおばあさんの荷物を持ってあげた際に、おばあさんから「ありがとう」と感謝を述べられると嬉しくなったことから、誰かのためにした親切によって、相手だけでなく自分も嬉しい気持ちになることに気付いていました。

2 各学年で行った授業の感想

- ・仲直りの魔法とは、謝られたら相手のことを許して、たくさんお話をして笑顔になることだと思います。（2年生）
- ・自分のことも考え、みんなのことも大切にすることが一番よいと思いました。どちらも大切にすることで、けんかは起きにくくなると思いました。（3年生）
- ・広い心は、優しい心などがたくさん詰まった心だと思います。そのときの状況などによっては相手を許したり、いろいろな人と仲良くしたりすることが広い心だと思います。（4年生）
- ・友達と約束をするときには、しっかり事前に時間を確認しておいてから約束をしようと思いました。また、もし、相手が約束をした時刻に遅れてきたとしても、相手の話をしっかり聞きたいと思いました。（5年生）
- ・その場を盛り上げるために、まわりに合わせて友達のことをからかうこともありました。相手が心無い一言で傷付いているかもしれないし、その子との関係が崩れてしまうかもしれないので、まわりの意見に合わせず、自分の意見を伝えるようにしたいと思いました。（6年生）

今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。